

兵器軍需品施設物引渡關係

大湊警備府

0304

大湊管第二六三號

昭和二十三年二月二十九日

第二復員局残務處理部文書課長殿

大湊管船部残務處理部長

左の件送付

一、引繼書類 一括

但別紙目錄の通

(別紙添)

別紙目錄中の印を付したる書類から引継



終)

日本政府

0305

引繼書類目録 (大湊地方復員局關係)			
書類名	冊數	書類名	冊數
終戦處理經過報告綴	一	◎兵器軍需品目録(北海道地區) 1/2	和文一八
終戦處理關係綴	一	◎同 2/2	和文一八
退合軍指令命令綴	一	◎同 右	歐文一括
大湊地方復員局公報綴	一	◎現地進駐軍に提出圖表	一括
同 記事綴	一	部長會報綴	一
同 命令同令綴	一	浮島丸遭難關係	一
據要綴	一	掃海關係	二
解懸關係綴	一	復員輸送關係	一
現地進駐軍と連絡事項	一	囑託者關係	一
◎兵器軍需品施設物引渡關係	一	現在員數報告控	一
◎同 右 引渡領收證	一	艦内通達綴	一
◎兵器軍需品目録(大湊地區)	一	件名簿	二

日本政府

0306

大警機密第二九號ノ五五二

昭和二十年八月三十日

大 湊 警 備 府

聯合軍側武装接收員ニ對スル兵器、軍需品及施設  
其ノ他引渡要領

一 聯合軍側武装接收員（以下接收員ト稱ス）ニ對スル兵器、軍需品施設其  
他ノ引渡ハ官房機密第二二一六〇四番電ニ依ルノ外本要領ニ依ル

ニ引渡要領ヲ甲法・乙法ニ區分シ關係各部隊隊長ハ此レノ方法ニモ對應シ  
得ル準備ヲナシ置クモノトス

三 甲法トハ十二航艦・大警關係（千島・樺太ヲ除ク）一括當司令部ニ於  
テ處理シ現地引渡説明及引渡ハ大警二五二一〇〇ニ依ル地區擔任  
官及當該隊長之ニ當ルモノヲ云フ

四 乙法トハ別紙要領ニ依ルモノヲ云フ

四 甲法・乙法ノ指示ハ守令ニ依ル

0307

聯合軍側武裝接收員ニ對スル兵給・軍需品及施設  
其他引渡安領乙法

- 一 本法ハ大湊地區ニ於ケルモノヲ規定シ大湊地區以外ニ於テハ大醫二五二〇番電ニ依ル地區先任者本法ニ準ジ準備スルモノトス
- 二 接收員ニ對スル引渡擔任官位ニ擔任幕僚ヲ別表ノ通定ム
- 三 引渡擔當官ハ夫々要港地區ニ於ケル總當兵給・軍需品・施設等ニ關シ其ノ親ヲ明カカニシ接收員來府ノ際之方應接及引渡ニ任ズルモノトス
- 四 關係各關長ハ自體保管ニ係ル兵給・軍需品・施設其他ニ關シ其ノ種類・數量及之方保管場所等ヲ明ラカニシ引渡擔當官ノ要求ニ應ジ必要ナル資料ヲ提供スルト共ニ自體關係事項ヲ關シ直接接收員ニ應接スルモノトス
- 五 擔當事項廣汎ニ亘ル場合各關長ハ部下高等官ヲ指定シ其ノ所掌事項ヲ分擔セシムルコトヲ得
- 六 擔當幕僚ハ接收員來府ノ際主トシテ接收員ト引渡擔當官トノ連絡ニ任ズルモノトス

（別表）

兵器、軍需品及施設其ノ他引渡擔當區分

種別	全般	一他所掌以外ノ兵器	二軍需品	三準軍需品	一航空機及關係兵器	二爆彈類	艦船	工作機械類	施設全般
引渡擔當官	參謀長	軍需部長	航空支廠長	港務部長	工作部長	施設部長	機首	政首	護首
引渡擔任幕僚	首席參謀	首席參謀	首席參謀	首席參謀	首席參謀	首席參謀	機首	政首	護首
記									

0309

大澤總密第二九號ノ五五六

昭和二十年九月一日

大澤壽備府参謀長

各武裝引渡擔當官殿

聯合重側ニ對スル武裝引渡ニ關スル打合會  
開催ノ件申進

首題ノ件左記ニ依リ實施セシメラレ候條必要資料携行ノ上出席相成慶

記

一日時及打合セ事項

月	日	曜	時	刻	打	合	事	項
九	四	火	一三〇〇〇	〇九〇〇	工作機械類引渡關係			
					艦船及航空機引渡關係			

0310

九、五

水

一三〇〇

〇〇〇〇

兵器及重需品引渡關係

講場 所 司令長官室

出席者

關係幕僚

關係引渡擔當官及同輔佐官

一關係外各引渡擔當官ノ倅聽差支ナシ

打合せ要領

引各引渡擔當官ヨリ擔當事項ニ關シ聯合重側接收員ニ對シ説明スル要領

ニ依リ陳述ス

四右ニ關シ質問、應答及研究ヲ行フ



雜件

六日以降成ルベク早キ時機ニ擔任幕僚及擔當官ニテ現状實視セシメラ

(終)

寫送付先

各 廳 長

(北滿洲方面ヲ含ム)

0312

大警言機密第一九號、六〇一

昭和二十年九月十一日

廣田

各廳長殿

大湊警備府参謀長

中野

副官

聯合軍側ニ對シテ兵器等ヲ引渡シ際  
担当官及各廳長ノ責任ヲ關スル件ニ  
八月三十日大警言機密第一九號ノ五三ニ依ル引渡要領  
中ノ首題ノ件ニ關シテ多少ノ疑義アルヤニ認メラルル所ニ  
解釋ハ左記ノ通ニ付該解釋ニキテ特ニ留意相成度

一、引渡担当官ハ兵器、彈藥等ノ引渡ニ關シ警備  
府内ニ於ケル統制ニ任ズベキモノニシテ兵器、彈藥  
等ノ保管トハ全ク別個ノモノナリ、隨ツテ之ガ保管  
ノ責任ハ飽ク迄之ヲ保管シ居ル各廳長ニ於テ負  
フベキモノナリ  
二、軍需部ニ還納セラレタル兵器、彈藥等保管

0313

ノ責任ハ軍需部長ニ於テ負フベキモノナルコト勿論  
ナレド此ノ場合ニ於テハ現實員ニ即シテ法理ニ提レズ引渡  
ニ関シテ關係廳長ハ軍需部長ニ極力協力スベキ  
ナリ

26

0314

カフ	サエ	サセ	サツ	サセ	チサ	チ
五						

機密 北海終戦處理命令第二號

昭和二十年九月二十一日 第一十歳基地

北海道終戦處理指揮官 菊地 鶴治

北海道終戦處理命令

軍側接收員ニ對スルニ各重要施設其他ノ引渡ハ  
 支領ニ依リ實施ノ豫定

收ノ說明ハ本部若ハ北海地方海軍部ニ於テ本  
 職之ヲ行フ

- 現地説明及引渡ハ孔隈(北海地方海軍部長)十歳
- 地ニ(北東空司令)室蘭(登別空司令)函館 小樽(各武官)
- 稚内(宗谷防衛隊長)美幌(北東空副長) 樺津根(空)
- (北東空内務長)厚岸(厚岸防衛隊長) 蛭田(分三隊長)

20.10.2.  
 受領印

0315

各地區（引渡擔當官）每三行ヲモトシ終戰處理機關  
本部ヨリ概ネ凡、構成員接收員ト同行シ之ガ連絡ニ

本職大警參謀副長、通譯若干名（全地區）

市村參謀副長（千歲、美幌、標津、根室地區）

山下參謀（札幌、小樽地區）

齊藤參謀（稚内地區）

伊藤少佐（室蘭、虻田地區）

妹尾副官（函館地區）

其外本部構成員ハ情況ニ依リ所要地區ニ同行ス

引渡擔當官ハ各擔當地區ニ於ケル兵器軍需品施設

其外關シ其ハ全視テ前記ニ接收員未向際之ガ應接引渡

二五二

三、関係各庁長（之ニ準セルモノヨ合）ハ自庁保官ニ係ルニ於テ  
軍需品施設其池ニ関シ其ノ種類、數量、之ガ保官場所  
等ヲ明ニシ引渡擔當官ノ要求ニ應ニ必要ナル資料ヲ提出  
スルト共ニ自庁関係事項ニ関シ直接接收員ニ應接スルモ  
トス

四、連駐軍ノ連駐地ニハ不明ナルモ差當リ各地ニ毎ニ連駐軍  
ノ居住施設（第一千歳、第一美隈、外ハ少尉敷）ヲ準備  
スルモノトス

附合機密比海終戦處理命令第一節ハ之ヨ及ビス

結

0317

昭和三年九月二十七日

大湊警備隊司令

大湊警備隊司令官長官殿

兵器引渡及保安隊件報告

下兵器引渡の件、小官昨二十日米軍司令部に出頭し、中佐一面

令同中佐、命を受け、憲兵中尉無事引渡したる

事、該兵器、村中米國憲兵三隊管中たる

保安隊、現在総計三十名、目下隊員中三名、市外一

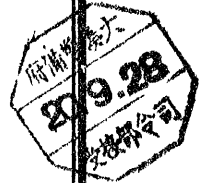
里半の駒込八名、市内善知鳥神社内、住居に在りて大

汽車時刻正規、解員セシ、(八月二十九日、予定)

三、残務、因に少教、兵及左記、者ヲ以テ整理セシ、兵舎糧食其

他、軍需品目下、當り、勤務、接護、隊員、坂本、少佐、引渡シ、武

官府とシテ、任務、同接護、會、依頼、シ、特、九月、末日、以テ、終、了、ス



0318

十月一日召集解除又予備役ヲ令スルモ差支無之。

右報告

左記

退役

在勤又官  
兼警備司令

大佐 浦田 幹三

現役

内務長

少佐 村松 滋郎 吉

現役

主任長

大尉 内田 忠弘

(終)





八、電報ヲ海兵園移転之ニ早ク取付テ連絡セシムト  
 九、武器彈藥格納所案内化境  
 (一) 海兵園内ニ三群共倉、格納所、及彈藥ヲ  
 及下化境、格納所ヲ三十七日事由ス  
 聯特急車一部ニ引継テ運搬ス  
 (二) 三十七日事由テ、觀音堂、般堂厨倉等、永下運送  
 一彈藥格納所ヲ是迄ニ格納所同單ニシテ  
 干山、樺山、中津、格納所案内ス  
 (三) 防意能台、早津、祝祭、中津、格納所案内ス  
 (四) 彈藥、海兵園、格納所案内ス  
 傳聞、海兵園、格納所案内ス  
 一、三十七日、八〇〇、哨兵、交代、ヲ行ヒ、早津、案内ス  
 其、他、ヲ、是、レ、ニ、シ、ム

海軍

0321

二、城島國は千名、何れ、信員也、か、ト、由、ハ、ニ、對、シ、  
 武將、存、存、一、保、為、守、爲、ニ、シ、テ、引、揚、ヲ、免、了、シ、任、務、カ  
 免、了、也、心、後、多、ク、ト、申、述、ス、三、ニ、對、シ、  
 島、子、多、ク、其、持、機、ヲ、弄、之、存、國、長、ニ、テ、後、多、ク、ト、申、述、ス、  
 一、二、指、揮、者、一、テ、ス、エ、一、ヨ、リ、ホ、ト、ハ、極、大、ク、好、感、ヲ、  
 以、テ、交、情、ニ、寄、リ、示、シ、リ、  
 一、三、明、三、九、日、予、定、シ、解、隊、ヲ、指、揮、ス、ナ、リ、國、下、不、明、ナ、ル、也、  
 副、長、及、所、内、通、訳、〇、八、〇、〇、迄、ニ、連、絡、ニ、事、ヲ、行、フ、ト、  
 試、

平川在武第九〇號ノ一八

昭和二十年九月二十八日

平川在勅海軍武官



大發醫備附司令長官

横須賀鎮守府司令長官 殿

海軍大臣 出

兵務引渡ノ件報告

船橋倉庫兵務一割紙一八九日二十七日柳台庫ニ引渡ヲ完了

(別紙添)

(終)

カフ	サロ	サハ	サツ	サヒ	ササ	チシ

--	--	--	--	--	--	--

海軍

0323

昭和二十年九月八日

海軍在勤海軍武官



船川地區兵器軍需品引渡目錄

(口) 短十二糎砲

三 門

但シ船舶武装解除品若干破損シアリ

(終)

海軍

0324

昭和二十年九月八日

船川在野海軍武官



船川地区兵毒車留置山録目録

(7) 式三機及四機無機電信機各一機

(終)

海軍

0325

覽書

廢務主任

ノ三三三

0326

昭和十年十月二日大奏海軍運輸部ニ於テ大奏海軍運輸部長ト東北海運局運輸部長ト向ニ左記事項打合決定ス

(北海々運局 藤田書記官立會)

出のノスニ記

リスト外

先任參謀

セウサ

マア

機関參謀

副官

(1)

一 眞金丸ハ修理後於大奏東北海運局ニ引渡スユト

二 第一厦門丸ハ於函館北海海運局ニ引渡スユト

三 眞金丸 第一厦門丸、船員其他、関キハ東北北海 兩海

運局ニ於テ之ヲ整備シ海軍(又ハ海軍ヨリ移管)ヲ受テタ

ル者)ヨリ返還ノ要求アル迄ハ右兩海運局ニ適當ニ

使用支障無キユト

四 返還ノ要求アリタル場合ハ遲滞無ク返還要求者ノ

指定ノ地(東北北海 兩海運局管轄海域内)ニ於テ

海軍

(2) 文

返還ニ應スルコト

五保船ヲ関シテハ兩海運局ニ於テ各々其責ニ任シ返還  
際ハ船体機関備品其他引渡當時ノ状態ニ復セシメ  
アルコト

昭和二十年十月二日

大連海軍運輸部長

佐藤俊美

東北海運局長

長井資行

本報告書ヲ送付ス 大連警備府政策参謀

大連海運局事務主任官

0327



陸軍省 陸軍部 第一課

昭和二十年十月六日

庶務主任

蒲田青森左衛門海軍武官

陸軍省 陸軍部 第一課 陸軍省 陸軍部 第一課 陸軍省 陸軍部 第一課

武官府所屬軍需品等一件御伺

當廳近ク廃止トナル可ク從テ之ニ屆属スル軍需品自動車等、  
官品ハ凡テ軍人援護會ニ引渡スヲ至者ト存心居候因共  
金ハ已ニ御指示有之且援護會ニテモ承諾有之候モ其他ニ  
關シテハ援護會ノ方ニテ引渡スルヲ嫌ッガ如クニモ及申候  
條何分御指示ヲ得度

一志 野村 氏 御 依 托 (終)

2ル 様 返 事 可 也

20107

0328

カフ	サエフ	サムセ	サ	サセ	サ	チシ
ヨシ	ニア	サキ	サヒセ	サクセ	チカサ	

北海道終戦處理第二號ノ四

昭和二十年十月十日

北海道終戦處理指揮官 菊地 鶴治

海軍 大 佐 殿  
 大湊警備府司令長官 殿  
 横須賀鎮守府司令長官 殿

兵務等引渡ニ關スル勅牒ノ件報告

本日本國海軍第九軍團司令官ヨリ別紙勅牒ニ接シタリ（第一〇一七三七

（別紙一巻添）

（終）

海軍

0329

別紙

札 帳

一九四五年十月八日

兵器・備品・裝備及器具ノ引渡ニ關スル件

海軍少將 菊地 鶴治 宛

一 陸軍文書ノ條文ニ基キ合衆國陸軍占領部隊ニ對シ引渡ス様貴官方  
政府ヨリ命セラレタル一切ノ兵器・備品・裝備及器具ヲ接收スル  
權限ヲ本目下配ノ者ニ委任セリ

合衆國陸軍少將 A D ブルース

一 爾今貴官ハ前記引渡ニ依リ生ズベキ一切ノ問題並ニ合衆國陸軍ニ  
依ル北海道占領ニ伴ヒ生起スベキ一切ノ事項ニ關シテハ直接アル  
イス將軍ノ指示ヲ受クベシ  
第九軍團司令官  
合衆國陸軍少將 チャース・M・ライダー

海軍



Sapporo

8 October 1945

0331

Subject: Turnover of Arms, Supplies, equipment, and facilities.

To : Rear Admiral Tsuruji Kikuchi.

1. The undersigned this day delegated to Major General A. D. Bruce, U. S. Army the authority to accept all arms, supplies, equipment, and facilities which, by the terms of the surrender agreement, you have been ordered by your government to ~~be~~ transfer to the United States Army Occupation Forces.

2. Henceforth, you will deal directly with

General Bruce and his representatives on all questions arising from such transfer and on all matters incident to the occupation of Hokkaido by the United States Army.

Chas W. Ryder,  
Major General, U. S. Army,  
Commanding IX Corps.

0332

一九四五年十月八日

於札幌

第九軍團司令部官

海軍大臣

大渡地帯海軍部長官殿

兵器、軍需品、備品、器具引渡に関する件

一、降伏文書、條文ニ基キ合衆國陸軍占領部隊對シ

引渡スヤソ貴官ハ政府ヨリ命セラレタル一切、兵器、軍需

品、備品、器具ヲ接收スル權限ヲ本日下記ノ者ニ委任セリ

合衆國陸軍少將 A. D. ブルース

二、爾今貴官ハ前記引渡シヨリ生ズベキ一切ノ問題並ニ

合衆國陸軍ニ依ル北海道占領ニ件ヒ生起スベキ一切

ノ事項ニ関シテハ直接ブルース將軍ト交渉スベシ

(終)

0333

A large rectangular area with vertical lines, likely a scanning artifact or a placeholder for a table.

通  
算

0334

Sapporo, 8 October 1945.

0335

Subject: Turnover of Arms, Supplies, Equipment and Facilities.

To: Rear Admiral Phulgitioch.

1. The undersigned this day delegated to Major General A.D. Bruse, U.S. Army the authority to accept all Arms, Supplies, Equipment and Facilities which, by the terms of the surrender agreement, you have been ordered by your government to transfer to the United States Army Occupation Force.

2. Henceforth you will be directly with General Bruse and his representatives on all questions arising from which transfer and on all matters incident to the Occupation of Hokkaido by the United States Army.

(Signed) Chas. W. Ryber,

Major General,

U.S. Army,

Commanding IXth Corps.



第77步兵師團宿營表  
BILLETING 77TH INFANTRY DIVISION

0336

師團司令部	DIVISION HEADQUARTERS	北海道拓殖銀行 (大連、西三丁目)
司令官	COMMANDING GENERAL	COLONIAL BANK
副司令官	ASSISTANT DIVISION COMMANDER	(HOKKAIDO TAKUSHOKU GINKO)
參謀長	CHIEF OF STAFF	
第一部(人事) 第二部(情報) 第三部(計画及作戦) 第四部(補給)	G-1, G-2, G-3, G-4	
軍政部	MILITARY GOVERNMENT SECTION	
日本郵政連絡事務局	JAPANESE POSTWAR LIAISON OFFICE	大同生命ビルディング (北三條西三丁目)
特務機關全部	ALL SPECIAL STAFF SECTIONS	DAIDO SEIMEI (BLACK BUILDING)
情報及教育隊	I&E SECTION	
慰安部	SPECIAL SERVICE	
師團司令部附將校宿舍	OFFICERS QUARTERS DIVISION HEADQUARTERS	清和寮 (南三條西三)
古參中佐	SENIOR LIEUTENANT COLONELS - SEIWARYO	(RAILWAY CLUB)
其他	OTHERS - TEIKOKU SEIMEI	帝國生命ビル (北三條西三丁目)
特科隊本部	HEADQUARTERS SPECIAL TROOPS	清水ビル (北二條西三丁目)
本部中隊	HEADQUARTERS COMPANY	SHIMIZU BUILDING AND
(將校及下士官食堂ヲ含ム)	(INCLUDING OFFICERS & EM MESS)	DAI ICHI CHOHEI ... 第一激兵 (北一條西四丁目)
憲兵小隊及憲兵隊長事務所	MILITARY PLICE PLATOON AND PM OFFICE	札幌陸軍聯隊區司令部 (北一條西九丁目)
		REGIMENTAL DISTRICT HEAD- QUARTERS SAPPORO RIKUGUN RENTAIKU SHIREIBU)
第237 憲兵中隊	237 MP CO - KOSHIYAMA	越山ビル (北三條西三丁目)
第77 偵察中隊	77 RECONNAISSANCE TROOP -	日本陸軍被服廠
第302 工兵大隊	302 ENGR BN - MILITARY POLICE BARRACKS	HIFUKUSHO) 北海道憲兵隊(中島公園)
第77 通信中隊	77 SIGNAL COMPANY - MILITARY POLICE BARRACKS	(HOKKAIDO KEMPEI TAI)
第77 補給中隊	77 QM CO - JAPANESE ARMY PROVISION DEPOT	北海道憲兵隊(中島公園)
第181 防毒小隊	181 CHEMICAL SERVICE PLATOON - JAPANESE ARMY PROVISION DEPOT	苗穂煙草廠 (苗穂)
第777 兵器中隊	777 ORD CO (LESS MOTOR MAINT SEC)	自動車補給隊ヲ除ク (NAEBO RYOMATSU SHO) 苗穂煙草廠 (苗穂)
自動車補給隊	MOTOR MAINT SECTION - NIHON NAINENKI KAISHA	日本内燃機會社
第215 爆彈処理班	215 BOMB DISPOSAL SQUAD - JAPANESE ARMY PROVISION DEPOT	(NAEBO RYOMATSU SHO)
第302 衛生大隊	302 MED BN - SUPER-COLD EXPERIMENTAL BLDG,	北大低温科學研究所 (北八條西六)
	(TEON KAGAKU KENKYUSHO)	
第103 マラリア隊	103 MALARIAL CONTROL DET -	北大低温科學研究所 (北八條西六)
第122 " " "	122 MALARIAL CONTROL DET -	" " " 全上
第612 彈藥中隊	612 ORD AMM CO - JAPANESE ARMY ORDNANCE DEPOT	陸軍彈藥庫 (札幌村)
第307 聯隊	307 RCT - SAPPORO BARRACKS	北部軍司令部 (月寒)
第76 野戰病院	76 FIELD HOSPITAL -	" " 全上
第334 修理洗濯部	334 QM LAUNDRY DET -	" " 全上
第305 聯隊	305 RCT - ASAHIGAWA BARRACKS	旭川兵舎 (旭川)
第九軍直轄關係		
IX CORPS		
第九軍司令部	H.Q., IX CORPS	札幌通信局 一階二階及三階一部
第九軍本部中隊	H.Q., CO., IX CORPS	全上三階一部 四階五階/全部 (北一條西六丁目)
第945 高射砲大隊D中隊	CO.D 945 AAA. BN.	商業組合中央金庫 (北四條西三丁目)
第九軍憲兵小隊	M.P. PLAT IX CORPS	
第209 防諜情報分遣隊	209 C.I.C DETACHMENT	
第151 停廢關係處理小隊	151 P.W. PROCESSING PLAT	
第82 通信大隊	82 SIGNAL BN	北海道第一師範學校 (南二十二條西十二丁目)
第九軍將校	OFFICERS OF CORPS	NORMAL SCHOOL
		グランド ホテル (北一條西四)
		GRAND HOTEL



大警第二九號ノ六六八

昭和二十年十月十日



大湊警備府参謀長

青森在勤海軍武官殿

武官所囑軍需品等ノ處置ニ關スル件回答

十月六日附來照首題ノ件ハ事情説明ノ上一應青森縣廳ニ保管ヲ依託ノコトトシ直接折衝相成度

(終)

海軍

0337

大湊警備府司令長官殿

昭和二十一年十月二十三日

庶務主任

十月二十日提出

廣備警 20.10.24 受檢

大湊地区火炮破壊處理作業指揮官ニ神延三

參謀長

期 間

十月二十四日以降成ル可ク速ニ

先參謀

處分火炮

(一) 用野特警備隊及海軍國各所屬砲台  
(二) 軍需部 工作部 防備隊 各保管砲  
作業班並ニ指揮官

副官

班/已分	指揮官	各班作業員
第一班	田上大尉(連)	下士官百名(係)
第二班	杉原大尉(連)	

0338

四、處分要領

- (一) 第一日、一日、總員旧海島國ニ際、右打合セノ後、因本部砲台ノ爆破ヲ見學、上各班所定ノ爆破ヲ實施ス。
- (二) 既設砲台ノ現場ニ於テ、爆破セシモノトシ、一糖以下ノ小口紐砲ノ工作部ニ於テ、圧壞スモノトス。
- (三) 爆破順序

第一班	班	第一日	第二日	第三日	第四日
	月				

別圖参照

第三班	青山中尉(警)	下士官各百名(警)
第四班	原田中尉(司)	
補助班	本間技士(主)	工作部、施設部ヨリ通宣

備考 (一) 米陸軍ヨリ各班ニ准士官以上ノ者限セシム  
 (二) 各班ニ通譯ヲ配ス

五

其、他

(四) 下北埠 類其他ノ砲身運搬處理ハ追テ令ス

第一班	第二班	第三班	第四班
近川	一巨川屋	巨越永下	釜崎樺山
釜崎樺山	觀音堂	追テ令ス	

- (一) 作業開始時刻ハ特令ナキ限リ0700迄(旧海軍國庫倉)
- (二) 各作業指揮官ハ爆破前亦禱ヲ揚揚危険防止ニ関シ遺憾ナキヲ期スルモノトス
- 危険半径ハ概テ1000米ノ際ヲ想
- (三) 各作業員ハ鉄兜ヲ貸与ノ際定
- (四) 作業員ハ辨當ヲ携行スルモノトス
- (五) 其、他各指揮官所定

(終)

カフ  
 サ  
 サ  
 サ  
 サ  
 サ  
 サ

軍事省ノ引渡引要ニ関スル日本及聯合側代表合際概要  
 九月二十日附聯合軍ニ對シテ司令部見書、日本軍隊ヨリモ多クシ且要領  
 不入ノ軍隊多ク其材補給品及設備ニ関スル件ニ是レノ旨多ク引渡  
 引要ニ関シ同二十七日日本政府及陸海軍代表ノ聯合軍司令部  
 見書、補給部(IV)長「イストウト」ニ准特「内」管轄ニ付答  
 答レシ處其ノ要旨ヲノ通リ  
 一 日本政府ノ「大島」内務省調査部ニ武内中央連絡事務局  
 一 二 部ニ加藤内務書記官陸軍側ヨリ有未申請、海軍  
 側ヨリ横山少將生席シ聯合軍例「イストウト」ニ准特  
 他「ハツクン」シレ大佐生席セリ  
 一 三 兵士ニ付、兵八名、又方五艦隊各指揮官ニ對シ内務省  
 代表ノ派遣「京都」ニハ十月二十日午後十時、横濱本橋  
 海軍

0341

夫は九月二十九日午前十時各指揮官ト会見し得し如く  
 之ヲ行フ右代表者ノ代名ニ京都ニ討シ大森氏ヲ做  
 遣ス以外ハ未定ナルヲ以テ決定次ヲ之通知シ移合  
 最司令全部ヲ各地指揮官ニ電報ス(二十八日朝全代表  
 氏名連絡済)

曰此地指揮官トノ連絡ノ為内務省ガ特ニ支那ヲ設置ス  
 一要アリヤ不ヤニ肉シテ此地ニ先ケル厚帯島ノ引渡  
 物迄事ヲ考慮シ且此地指揮官トノ協議ニ依リ之ヲ  
 決スルトスルモ横領的ナリ如ク海軍國伴厚帯島引渡  
 破産モ之ヘキモ多ク其ノ要十中七知レス  
 曰陸海軍解除後ノ治安維持ノ為ニ軍力強化ノ要ニ  
 慮之ニ要スルニ對シ厚帯島ノ破産ニ際シ特別ノ  
 考慮ヲ拂フモ機同鏡ノ如キ其ノ所有ハ許可困難トシテモ

海軍

0342

知レス高内務省ハ右ノ目的ノ為ニ要スル武裝洋葉ノ好トテ  
 直ニ提去スル要アリ (二、三ノ中ニ提去スルト旨合フ)  
 四、北工並ニ常ノ強化ニ要スル船艇モ亦海軍省ノ引渡  
 ・引去ニ際シ十分ニ考慮セリヤ  
 五、海軍省ノ引渡引去前後ノ保費ノ為ニ各船ノ  
 人員ヲ要シ我船ノ乗力ヲ以テテハ徴船ニ過ルルヲ  
 以テ陸軍省ニ陸軍軍力ニカ望シ備ニ充テ居ル人員ヲ内務省  
 ニ職員トシテ利用スルコトニ着目ナシ 聯合軍例ニ  
 之カ保全ニ付協力スルコトニヘシ  
 六、引去又海軍省ノ記録ニ必スシモ内務省ニ送ラズ  
 行ノ要ナク地方警察廳ヲ以テ行ハルコトヲ得ルモ内務省  
 必要ナリ又非常ニ甚シキ記録ヲ送レ 聯合軍例ニ

海軍



分

徳シ得ハツトヲ要ス

(七) 海軍省ノ引渡リ又ノ行動ハ九月ニテハ内閣聯合會

最モ司合即呈上ニテ其ノ公表ヲ禁止ヲ解カシメタル

在事ニテハ、公表方法ハ本國内ニ於テハ及細事ニテ

政策問題ニテハ此ヲ追テ何カノ指シ合ハシ、又ニ

海軍省ノ引渡リ又ノ細目ノ事ニテハ、公表ニ

同意シテハ陸地指揮官ノ裁量依リテハ禁止スルコトモ

アリ得ヘシ

(注) 本件ニ関シテハ、合議終了後、陸海軍内ノ

打合せノ席ニ陸海軍側ヨリモ、發着ノ責任ヲヘキ

旨ノ提議あり、内務省側ニテハ、右ノ事ニ對シ

公表ヲ令命シタルニシテ、不可能トシテモ其ノ

公表方法ニ関シテハ、本國内ニ於テハ、對シ及細事ニテ

海軍

0344

陸軍部令第何ノ特別ノ固心至心ナルコトヲ強調スルノ  
 案アリ却テテ道部事ヲ事サザン得ルニ付テ是レモ(キ  
 此モテソル所アリ  
 (ハ) 未チ八ノテハ何ニ對シテハ日中ニ對スルニ是レモ内務  
 省更ニ詳細ナル様之表力ヲ示サレタリ元右ノ  
 旨ヲ達スルコトヲ以テ之ヲトテ例ニ照シテ得ス  
 此ノ引渡ル目申ニハ 施設(土地建設部製表) 假令  
 工務ノ工作機械等)ヲ含ムル Equipment 十ノ注  
 之等一切ノモノヲ之中申スルモ是レヲ一ニ三等ノ申ニ  
 此等ノ 神台等ノ引渡ヲ完了セリ及テ建設部  
 工務等ノ引渡ヲ實施スルニ平服ナリ

海軍

(1) 引渡中  
 聯合軍ニテ破壊スルニテナク本在國ニ持テ歸ルモト  
 出テ引渡ルモノナキニ因テ大砲ノ計画ニ就テ樹テシ  
 了リ大砲 (artillery) 二挺亦砲台ニ置テシテ本在國  
 ニ持テ歸ルニ方針ナルニ要塞砲ノ如キ破壊方ヘシ  
 出引渡引渡ラセテ砲台層層指移スルヲ指示ニ依リ  
 本在國軍兵ヨリ積貯ニ貯テテ先リ民軍中ニ振向ケ  
 得ルモノト出テ引渡ルモノニ因テ後部ニ因シテハ  
 之ヲ破壊乃至本國ニ持テ歸ルモノトシテ今ヤ破壊セラ  
 シムル後民軍ニ振向ケ得ルモノニ再ビ細心ニ已別  
 也トシテ民軍ヨリ砲台兵ノ中ニ砲台ニテ内務者ニ引渡

海軍

漢之とせしむるが如く、右、御自、御書、「此地は於此」  
 内務省(守)代官ニ對シ、所内ノ録、終ヲ以テ、指テスベキ  
 已此地到、居後迄ニ、計畫表ヲ圖シ、得ル所ニ、疑向ナリ  
 十、附録ノ方法、ハ、本年、御書ニ、在、絡橋ノ上ニ、  
 考、上、卷、コトヲ、行、ハ、キ、モ、ゆ、カ、シ、モ、之、ニ、從、ル、ス、少、統、ノ、如、キ、  
 石、細、ヲ、用、セ、ラ、ズ、テ、遠、郊、ノ、降、葉、ノ、極、中、ノ、校、也、  
 亭、ノ、定、金、ト、破、線、ヲ、期、ス、ヘ、シ、  
 (三) 破線ヲ、言、施、ス、ル、ハ、日、本、領、土、ニ、モ、(野、合、々、々、之、ニ、協、力、ス、  
 之、ヲ、命、ズ、ル、ハ、此、地、各、指、稱、ニ、ト、ナ、リ、破、線、ニ、至、ル、ル、ハ、必、カ、  
 々、陸、地、内、又、地、方、廳、ノ、協、助、ニ、基、キ、之、ヲ、部、合、ス、ヘ、リ、  
 武、者、降、葉、ノ、取、扱、ニ、關、シ、テ、(海、智、ヲ、原、ス、ル、ニ、從、テ、  
 後、之、降、葉、ト、シ、テ、用、ス、ル、モ、居、テ、シ、テ、少、人、ト、被、シ、  
 後、及、内、人、ト、シ、テ、之、ニ、從、事、ス、ル、ト、テ、妨、ヤ、ス、

海軍

(注) 本会議後ノ陸、海内打合せニ於テは、  
 一、次官格ニ於テ内務省ニ在リ加セテ、  
 引退ニ協力セシムルニ在リ、  
 目録ニ在リ、  
 西川海引退ニ在リ、  
 二、依リハ、  
 三、各般、  
 (注) 陸海内ノ打合せニ於テは、  
 夫ノ内務側ニ在リ、  
 直引退ニ在リ、  
 西川海引退ニ在リ、

海軍

0348

七 米元之艦隊ノ旨種ニ明瞭ナラザルモ奥地ニ於テ  
 招降ノ事多ク引渡引渡アリ行フ際米元ハ亦  
 降格降官カ其ノ事ニ盡ルト雖モ米元之艦隊降格有  
 (七) 表ノ之ニ及ラズシテ米陸軍其ノ言ノ形式ヲトシ  
 (八) 掃海及外地ノ復員輸送ニ任事スル招降艦隊  
 船ノ船員ニ對スル衣糧等及テ事艦姓ノ燃料  
 肉ニテハ米元之艦隊亦亦接交給セラレカ又ハ  
 内務省ノ引渡メカケテ之ヲ米元ノ力何レニセヨ考慮  
 セラレベシ  
 此ノ内務省ノ引渡方ハ飽ク迄一般民内人ニシテ  
 困窮シテ居ル者又チ有テ事ヲ禱ニ近キ艦隊  
 降格ニ對シテ優先的ニ命ケテ之ニシテ之ヲ  
 一モノニシテ之ノ人ハ靴衣履等ニセヨ  
 一般民内人ニシテ

海軍



司令

廣

D. I. W. R.

先般之儀、先般之儀、極上之國、通信隊、中野部

工部部、隊員、構山甚也

後令、一カ、ナ

角隊之儀、本日以降、四日間、三五我(食)以下、

全兵、男、下、五、隊、現、令、中、野、部、各、隊、中、米、隊、中、

指、隊、員、之、接、收、才、報、計、ハ、シ

項、目、ハ、既、令、了、道

ニ、カ、

85

海軍

0351